

〈こども版〉 としょかんだより No.244

# わくわく本だな

2004年

6月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

## たかどの ほうこそんの本

たかどのさんは、大学生のときから子どもの本を書きはじめました。

えほんから長編の物語まで、明るくさわやかなお話がたくさんあります。

《路傍ろぼうの石幼よ少年文学賞ぶんがくしょう》など、いくつもの賞をもらっています。

### 「つんつくせんせいとつんくまえんのくま」(えほん) フレーベル館

つんつくえんのみんなは、山の家へ遠足にいきました。

ところが、森の中で子どもたちはみまよってしまい、やっといっけんの家をみつけました。そのとき、15ひきのくまが、その家をめざしてあるいてきたのです。



### 「ネズンタはかせの発見」 教育画劇 「へんてこもりのきまぐれろ」 偕成社

ネズンタはかせが発明した『大きくなる薬くすり』  
その薬をのんだ村のみんなは、  
大きくなったのでしょうか。

ホンリエーヌちゃんの本から、主人公の  
きまぐれろがにげだして、本は、まっ白！！  
なかよし四人ぐみはそうさくたいをけっせいし、  
さっそく森の中をさがしはじめました。

### 「いたずらおばあさん」 フレーベル館

洋服研究家のエラババ先生は、ふしぎな服を発明しました。

それは、1まい着ると、1さい若くなる透明とうめいの服です。

弟子のヒョコルさんとなんまいもその服をきて、ふたりは  
8さいの女の子へんしんに変身したのですが・・・。



### 「紳士とオバケ氏」

フレーベル館

マジヒコ氏は、いつも夜の  
12時前に寝ます。ある日、  
真夜中に目をさますと、目の前に  
マジヒコ氏そっくりのオバケが  
あらわれたのです。

### 「キロコちゃんのみどりのくつ」

あかね書房

くつやさんに、ヘンテコなくつがありました。  
大きな目と、横にのびた口と、まっかなベロの  
ついたくつです。キロコちゃんはそのくつを  
はくと、足がかってに動きだしました。

# あたらしくはいった本

= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

えほん

「<sup>いち しち</sup>1と7」 二宮 由紀子 / 作 ひかりのくに

名前やスタイルがそっくりな、すうじの1と7がけんかをはじめました。おたがい“まねしんぼ”といいあい、とうとうりょうほうともなきだしてしまいます。そこへほかのすうじたちもやってきてなくさめまてくれました。

ものがたり

「子ぎつねのおくりもの」 小林 しげる / 作 国土社

ぜんさんのところにいつも貝をかいにくる子ぎつねのきょうだいが、「いっぱい食べたいから、はたけにあさり貝をうえた」と言いました。でも、貝は土にうえても芽はでません。かわいそうに思ったぜんさんは、こっそりトマトのたねをうえることにしました。

「ランドセルいっしょけんめい」 とよた かずひこ / 作 ポプラ<sup>+</sup>

けんたくんは、1年生、ランドセルも1年生です。  
おやおや、ランドセルがなにか言っていますよ。  
じてんしゃさんやけしごむくん、いつもいっしょうけんめいなものたちのきもちを、みんなできいてみましょう。



「ドコカの国によこそ！」 大海 赫 / 作 ブッキング

小学4年生のフトシくんには、だれにも言えない<sup>ひみつ</sup>秘密があります。それはおねしょをすることです。

ところがある夜、ふしぎな<sup>ゆめ</sup>夢をみてからおねしょがすっかり治ってしまいます。その日から、フトシくんのところに、へんてこな手紙がとどくようになりました。



「首つりツリーのなぞ - ぼくらの<sup>しんれい</sup>心霊スポット - 」

あさの あつこ / 作 学習研究社

ヒコの住む村の池のそばに、首つりの木とよばれる大きな木があります。ある日、池に行った親友の<sup>しんゆう</sup>かっちゃん、<sup>まいばん</sup>毎晩おなじこわい夢をみるようになります。ぼくらは、さっそく<sup>しんそう</sup>真相をたしかめに出かけます。



「さかな食材絵事典 - お寿司のネタもよくわかる - 」

広崎 芳次 / 監修

お寿司屋さんやスーパーで目にするさかなの切り身。もとはどんな形をしていて、どこから来たのか知っていますか？

さかなのおいしい料理のしかたや住んでいた場所、おもしろい豆知識などものっているたのしい事典です。



# 雨の日



雨の季節です。雨がふると外で遊べないし、毎日じめじめしておもしろくありませんね。そこで、雨の日がたのしくなる本をしょうかいします。

「こぎつねキッコ あめふりのまき」 (えほん) 松野 正子 / 作 童心社

こぎつねのキッコは、あかいかさがほしくて、こっそりようちえんへいってみます。

「あめふり - ばばばあちゃんのおはなし - 」 (えほん) さとう わきこ / 作 福音館書店

毎日、雨ばかり。おこったばばばあちゃんは、くもの上のカミナリに大ごえで言いました。「そんなら、こっちにもかんがえがあるよ！」

「こうえんのシロ あめふり」 わたなべ ひろみ / 作 ポプラ社

公園をまもっている犬のシロは、まいにち雨ばかりでたいくつです。そんなときどこからかふしぎな声が・・・。

「ウォンバット雨の日のぼうけん」 ルース・パーク / 作 朔北社

ウォンバットのところに、すてきなレインコートと赤いながぐつがとどきました。だれかにみせたくてさっそく出かけましたが、大雨でながされそうになりました。

「雨の日のごちそうの話」

かなざわ あつこ / 作 ひくまの出版  
5人の仲間<sup>なかま</sup>は、川で遊ぶ<sup>やくそく</sup>約束をしていたのに雨で取り止めになりました。そこへケロロがきてごちそうをしてくれるというのです。

「雨ふりマウス」

竹下文子 / 作 アリス館  
ミキトはひっこしてきた家で女の人や三匹<sup>さんびき</sup>のねずみを見ます。でもなぜかミキトにしかみえないのです。

「雨の日がたのしくなる本」 (ちしき) ウィルクス / 作 メディアファクトリー

変そうごっこ、おやつ作り、おし花や工作・・・雨がふったらやってみよう！

# しいたい しらべたい



池や水田で、アメンボをみつけました。  
アメンボが水の上をじょうずに歩けるのは  
どうしてですか。

次の本などで調べることができます。

「アメンボのふしぎ」 トンボ出版

「ドキドキいっぱい虫のくらし写真館 14 アメンボ」 ポプラ社

「アメンボが水の上を歩けるのはなぜ? -科学の質問箱 16-」 誠文堂新光社



## シリーズしょうかい

「おひめさまといちごのケーキ」

まだらめ 三保 / 作 ポプラ社

おひめさまのケータイにふしぎな電話がかかってきました。



「てんぐちゃんとふたごのおに」

もりやま みやこ / 作 理論社

いたずらずきのふたごのおにウエモンとサエモンが、かめじいさまを  
おこらせてしまいました。さあ、てんぐちゃんのでばんです。

「モンスター学園 2」

舟崎 克彦 / 作 ポプラ社

ドラキュラのむすめ、ドラキュンが  
人間の男の子をすきになってしまいました。

「フレディ 4」

- ハムスターとゆうれいの大決戦 -

ライヒェ / 作 旺文社

ある日、ゆうれい<sup>じょう</sup>城から一通の  
招待状<sup>しょうたいじょう</sup>がとどきました。  
お城<sup>しろ</sup>でフレディたちを  
まちうけていたものは・・・。

「世界8ふしぎ?!」

- 編集長ジェロニモ9 -

郷田 千鶴子 / 訳 フレーベル館

美しいネズミに相手にされずになやんでいる  
ジェロニモの前に、魔女<sup>まじょ</sup>ネズミがあらわれました。

6 がつ

おやすみの日

6月3日(木)

6月7日(月)

6月21日(月)

6月14日(月)

6月28日(月)